

外壁改修工事における 施工数量調査写真の撮り方について

※本資料は基本的な方法を示すものです。施工数量の根拠として適切で分かりやすい写真撮影、整理をしてください。

①基本事項

・はつり工法



・ピンニング、ピンネット工法



- ・各箇所1辺以上の計測写真を掲載すること。
- ・コンベックス等の文字が判別しづらいものは原則不可とし、スタッフ、リボンテープ、クロスロッド等を使用のこと。
- ・1枚の写真で判別しづらい場合は、遠景、近景等の複数枚の写真で構成するなど工夫すること。
- ・マーキングの色は改修内容で分け、検査により追加及び変更になった場合は、色を追加するなど工夫すること。

②複数の箇所が近接している場合



外壁改修外工事

施工状況写真

D. 外壁改修工事

2. 外壁補修工

西面

DSCF3316

2018-08-25



外壁改修外工事

施工状況写

D. 外壁改修工事

2. 外壁補修工

西面

DSCF3317

2018-08-25

- ・複数箇所を1枚の写真に収めることを可とする。
この場合、1箇所のみでの計測であっても、他の箇所の寸法がわかる場合は、1箇所の計測でも可とする。
- ・マーキングと番号の組み合わせが明確になるようにすること。
- ・上記のほか、基本事項に則ること。

③既存モルタル厚が設計数量より大幅に異なる(10mmを超える増減)場合



.....
工事項目
.....
C. 撤去工事
.....
1. 外壁取り工事
.....
西面
.....
CIMG0069
.....
2018-08-16
.....
.....
.....



.....
工事項目
.....
C. 撤去工事
.....
1. 外壁取り工事
.....
西面
.....
CIMG0070
.....
2018-08-16
.....
.....
.....



.....
工事項目
.....
C. 撤去工事
.....
1. 外壁取り工事
.....
西面
.....
CIMG0071
.....
2018-08-16
.....
.....
.....

・増加分の数量として平均値を算出するため、数箇所の厚み計測写真を撮影すること。(箇所数は監督員に承認を得ること)

<注意点>

※全はつり(アルカリ骨材反応対策)の場合、塗り厚は躯体の精度によらず原則設計どおりの厚みとする。

※増加分の数量は写真だけでなく、マニフェスト、数量チェックリスト等により根拠を示すこと。